

新大宮上尾道路(与野～上尾南)景観検討会議 (第3回)

令和2年1月23日

国土交通省関東地方整備局大宮国道事務所
首都高速道路株式会社東京西局プロジェクト本部

目次

1 高架橋の景観検討	2
2 附属物の景観上の配慮方針	5
3 色彩案の決定	7
4 自治体の景観計画との整合	10
5 イメージ図	11

1 高架橋の景観検討

■景観整備方針

[景観形成の目標像]

市街地から田園景観へと移り変わる風景に調和した道路整備

■周辺の景観等への配慮の考え方

- ◇都市景観（与野～宮前）と緑豊かな郊外景観（宮前～上尾南）、それぞれの特性や魅力に配慮し、周辺景観に馴染む高架橋デザイン・色彩とする。
- ◇出入口等の道路形態の変化点及び開通済み区間も含めて、高架橋としての連続性・デザインの一貫性を確保する。
- ◇維持管理性にも配慮しつつ、長期に亘って清潔感や美しさが保たれるようにする。

■住民等の利用を考慮した整備の考え方

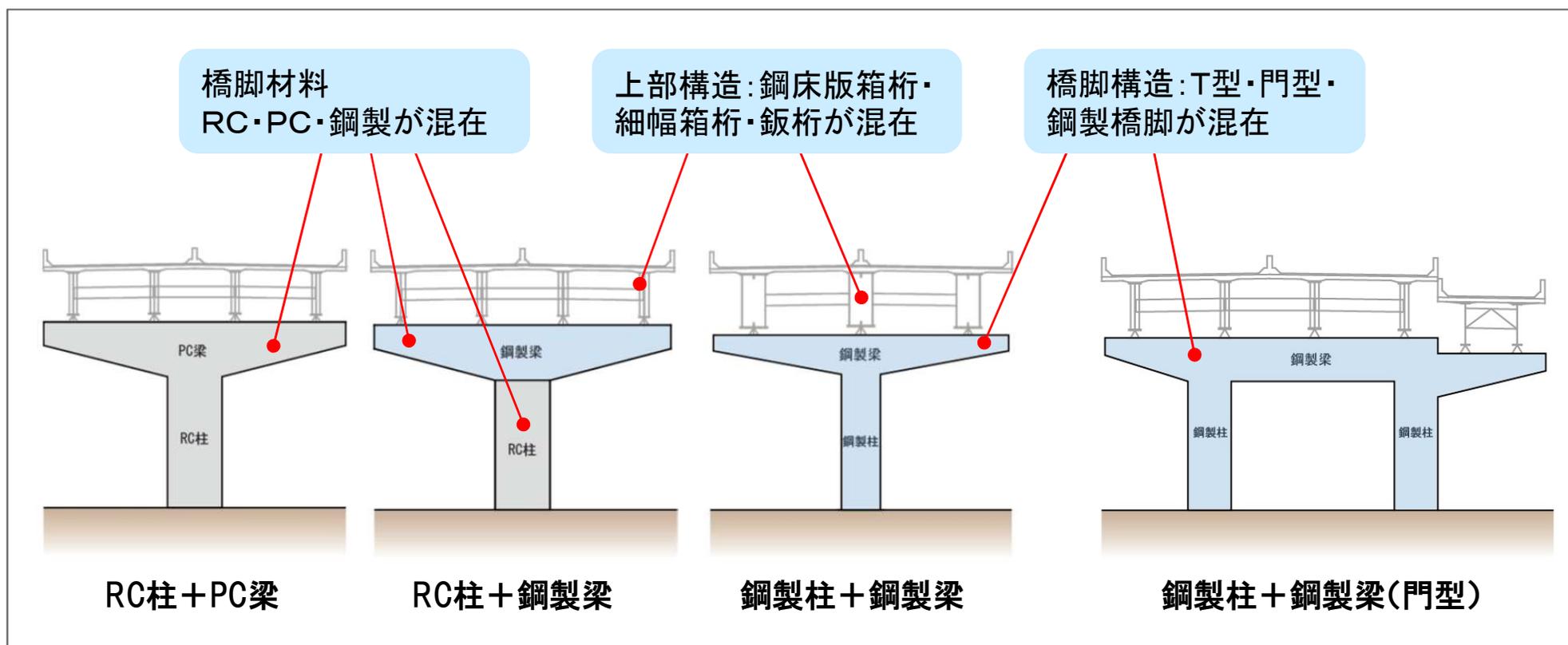
- ◇沿道の生活者、一般国道走行中の視点を考慮し、大規模構造物による圧迫感や附属物等による煩雑感の軽減に配慮する。
- ◇快適な走行環境を創出するため、専用部の走行視点において、すっきりとした道路内景観を確保するとともに、外への眺望や閉塞感の軽減に配慮する。

1 高架橋の景観検討

■高架橋デザインの方針

- 【課題】
- ・ 延長 8 km の高架橋区間には渡河橋、跨線橋、跨道橋等があり、構造規模が大小様々である
 - ・ それぞれの構造上の制約から、高架橋の構造形式、桁・橋脚の形状や大きさが多様になる

この区間の一般的な橋梁構造の例



1 高架橋の景観検討

■高架橋デザインの方針

- 【方針】
- ・高架橋の美しさの源は「連続性」にあることから、異種構造の接続部等は、可能な限り滑らかに接続する
 - ・大規模な構造物は、圧迫感を軽減するべく形状と色彩を工夫する
- 【具体的な方法例】
- ・床版の張出長を極力統一する
 - ・桁高に段差が生じる場合は桁端部で解消する



※標準高架部のイメージであり変更となる場合がある

2 附属物の景観上の配慮方針

■附属物整備の配慮方針

- ・ 高架橋としての連続性・デザインの一貫性を確保する
- ・ 長期に亘る清潔感・維持管理性に配慮する
- ・ 附属物による煩雑感の軽減に配慮する
- ・ すっきりとした道路内景観を確保するとともに、外への眺望や閉塞感の軽減に配慮する

主な附属物	景観上の配慮方針
①遮音壁	<ul style="list-style-type: none">● 透光板を採用し、圧迫感や閉塞感の軽減、眺望の確保に配慮する● 耐候性の高い材料を採用し、紫外線劣化等による変色を抑制することで、清潔感および維持管理性に配慮する● 支柱は壁高欄天端上への設置を基本とし、取り付け部による煩雑感の軽減に配慮する
②道路照明	<ul style="list-style-type: none">● 中央分離帯に配置することを基本とし、壁高欄拡幅を減らし、高架橋の連続性に配慮する
③門型標識柱	<ul style="list-style-type: none">● 橋脚位置と揃えることを基本とし、すっきりした印象となるよう配慮する
④排水管	<ul style="list-style-type: none">● 目立ちにくい箇所に配置することを基本とし、煩雑感の軽減に配慮する

※上記の他、設置する可能性がある附属物について、本体構造物と組み合わせた景観を複合的に検討した

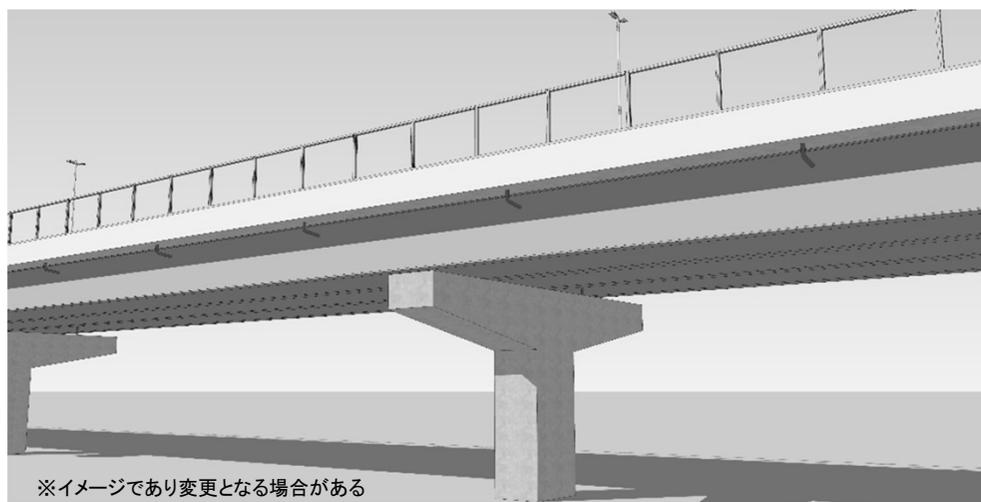
2 附属物の景観上の配慮方針

■附属物が設置された高架橋の景観イメージ



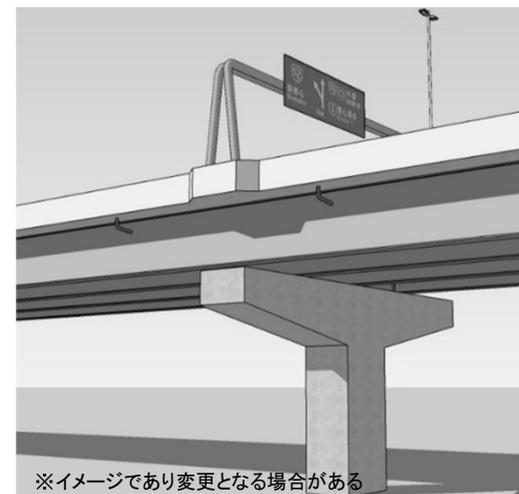
■高架橋走行車両からの景観イメージ

- 透光板による閉塞感の軽減、眺望の確保に配慮
- 道路照明は中央分離帯内に配置し、壁高欄の拡幅を減らし連続性に配慮



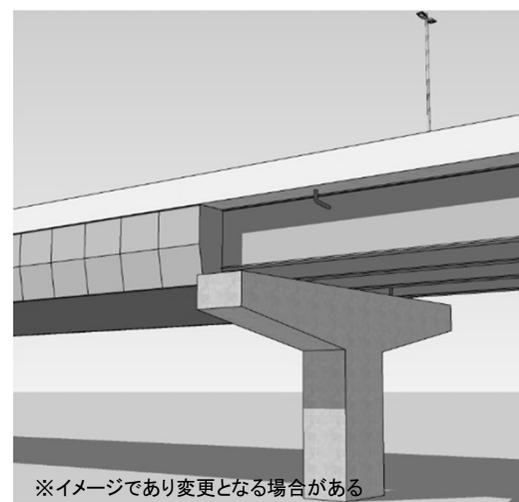
■高架橋を街路から見た場合の景観イメージ

- 透光板による圧迫感の軽減に配慮
- 透光板の支柱取付部や排水管は目立ちにくい箇所とし煩雑感の軽減に配慮



■門型標識柱が設置される場合

- 橋脚位置と揃え、すっきりとした印象に配慮



■恒久足場が設置される場合

- 端部は橋脚に揃え、すっきりとした印象に配慮

3 色彩案の決定

■ 色彩選定の考え方

- ・ 区間内で変化する**どのような景観特性にも馴染む色彩を選定する**
- ・ 混在する構造形式の違い、橋桁と橋脚のとり合わせを踏まえ、色彩コーディネートにより、**区間全体での統一感と連続性を確保する**
- ・ 上部工と下部工、附属物の色彩コーディネートにより、**圧迫感の軽減を図る**



3 色彩案の決定

■現地での色彩確認状況

- ・ 新大宮バイパス区間（さいたま市）と上尾道路区間（上尾市）において色彩検討を実施した
- ・ 確認作業は候補色のボード（90cm×90cm）を自然光に当て、距離を変えながら行った
- ・ 色彩選定の考え方を踏まえた候補色について、周辺環境に馴染むかを確認した
- ・ 上部工と下部工の明度差を確保しつつ、橋梁の圧迫感や重量感を軽減できる組み合わせを検討した



三橋公園付近

- ・ 上部工、下部工の明度差を変えながら比較
- ・ 空を背景にした検討も実施



堤崎付近

- ・ 明度差を同一にした場合の組合せを比較
- ・ 周辺環境との調和を検討

3 色彩案の決定

■色彩案の決定

- ・ 桁の色彩は、区間内で変化する様々な景観特性に馴染むものとして**暖色系の低彩度色**から選ぶ
- ・ 橋脚は鉄筋コンクリート製と鋼製が混在し、形状もT型と門型などが混在することから、鋼製橋脚の色彩は**コンクリートに近似した色彩**を選ぶ
- ・ ただし、上部工と下部工を合わせたとき、ある程度の明度差を確保する必要がある
- ・ 最終的に、全体のバランスを考慮して桁の色彩を【**グレイッシュベージュ**】、鋼製橋脚の色彩を【**オフグレー**】とすることで圧迫感の軽減が図られることを確認した



桁：グレイッシュベージュ
色番号：19-55B
マンセル値：10YR 5.5/1

鋼製橋脚：オフグレー
色番号：25-75A
マンセル値：5Y 7.5/0.5

※標準高架部のイメージであり
変更となる場合がある

4 自治体の景観計画との整合

■さいたま市（景観行政団体）→「さいたま市景観色彩ガイドライン」を適用：許容値を規定

区域	部位	色相	明度	彩度
景観誘導区域 (商業・業務地系)	外壁	0R~5Y	基準値なし	6以下 (推奨:2以下)
		その他	(推奨:4以上8以下)	2以下 (推奨:1.5以下)
景観誘導区域 (住宅地系)	外壁	0R~5Y	基準値なし	6以下 (推奨:2以下)
		その他	(推奨:4以上8以下)	2以下 (推奨:1以下)
景観誘導区域 (工業地系)	外壁	0R~5Y	基準値なし	6以下 (推奨:2以下)
		その他	(推奨:4以上9以下)	2以下 (推奨:1.5以下)
景観保全区域 (田園地系)	外壁	0R~5Y	基準値なし	4以下 (推奨:2以下)
		その他	(推奨:4以上8以下)	2以下 (推奨:1以下)

グレイッシュ
ベージュ
19-55B
10YR 5.5/1
明度 5.5
彩度 1.0

オフグレー
25-75A
5Y 7.5/0.5
明度 7.5
彩度 0.5

■上尾市 → 埼玉県景観計画を適用（一般課題対応区域）：制限値を規定

色相	都市区域	田園区域
7.5R から7.5Y	彩度6を超える	明度2を超え かつ彩度6を超える 明度2以下
7.5RPから7.5R (7.5Yは含まない) 7.5Y から7.5GY (7.5Yは含まない)	彩度4を超える	明度2を超え かつ彩度4を超える 明度2以下
7.5GYから7.5RP (7.5GY, 7.5RPは含まない)	彩度2を超える	明度2を超え かつ彩度2を超える 明度2以下
N	—	明度2以下

すべて
適合

5 イメージ図



宮前IC付近

※イメージであり変更となる場合がある

5 イメージ図



高架部

※イメージであり変更となる場合がある